

弘前大学

# 健康未来センターを新築

総事業費  
約10億円  
今春にも実施設計委託

【弘前】国立大学法人・弘前大学は、医学部キャンパス内に医療・健康産業の拠点となる「健康未来イノベーションセンター」を新築する計画だ。文部科学省の「地域科学技術実証拠点整備事業」に申請し、全国22拠点の一つに採択された。総事業費は約10億円。同大では、今月末か2月上旬にも交付決定が下りると見込んでおり、その後実施設計を委託するなど、2017年度中の工事発注および完成を目指す考えだ。

## COI機関4社一堂に

新築規模は、鉄骨造2階建、延べ840平方メートル。1階はイノベーションサロンや新型健診プログラム開発室、健やか力推進センター・自治体オフィスなどを配置。2階は健康ビッグデータ解析センターとしてスーパーコンピュータなどのほか、先端分析機器共用センターとして次世代シークエンス、メタボロミクス用質

(革新的イノベーション創出プログラム拠点事業)の拠点施設として、同県や弘前市をはじめ、同大との連動によりCOI

参画機関4社が一堂に集う。健診と同時に健康教育を行う「啓発型健診」を開発・実用化して、地域住民が健康づくりを行う場としても機能する。さらに、健診で得られる健康ビッグデータを活用し、病気の発症を防ぐサービスや商品、事業の開発を行う。最終的には、県全体の雇用創出や

同施設は文科省の研究プロジェクト「COI」

新産業創出に寄与し、地方創生に向けた一大拠点として貢献することを目指している。